

中国の大気汚染の状況と主な動き

2015年12月22日

1. 大気汚染の状況

最近のPM2.5等に関する状況は図1、図2（別紙）のとおり。

- ・（図1）地域別のPM2.5年平均濃度（2013-2014年）
- ・（図2）PM2.5, SO₂, NO₂の相関図（2014年）

（注）その他の分析については（参考資料1）参照。

2. 2015年の主な動き

2015年に公表された主な法制度として以下。下記通知及び改正法の仮訳はIGESのHPに掲載。

<http://www.iges.or.jp/jp/china-city/trend.html>

- ・ 2015.6 「揮発性有機化合物汚染排出費徴収試行規則配布に関する通知」
石油化学工業及び包装印刷業に関してモデル的にVOC排出費（負荷金）を徴収
- ・ 2015.8 「改正中華人民共和国大気汚染防止法」
2015年1月より施行されている改正環境保護法を踏まえ、大気汚染対策を強化、2016年1月1日より施行

（注）その他の取組については（参考資料2）参照。

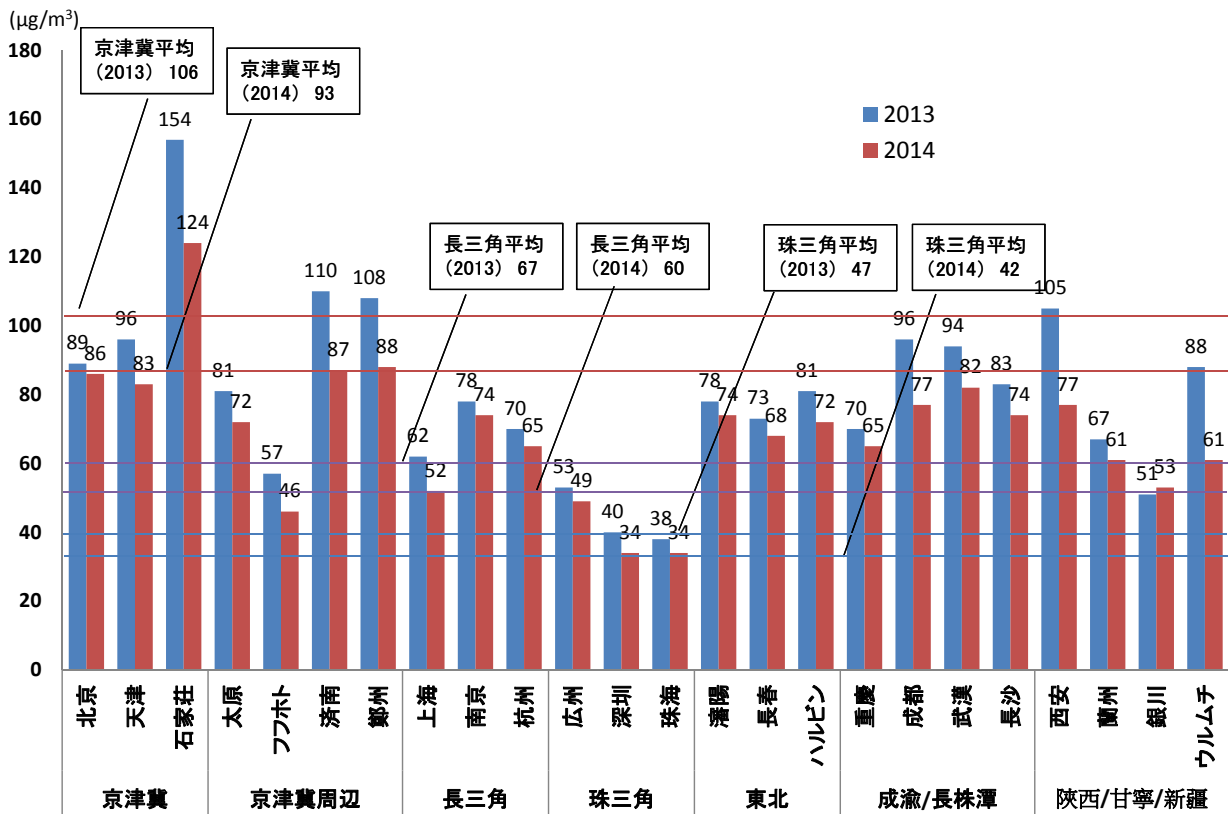
3. 参考資料

2015年に日本で開催されたシンポジウム及び研修での資料について、資料作成者等の厚意により本会議出席者への配布許可をいただきました。

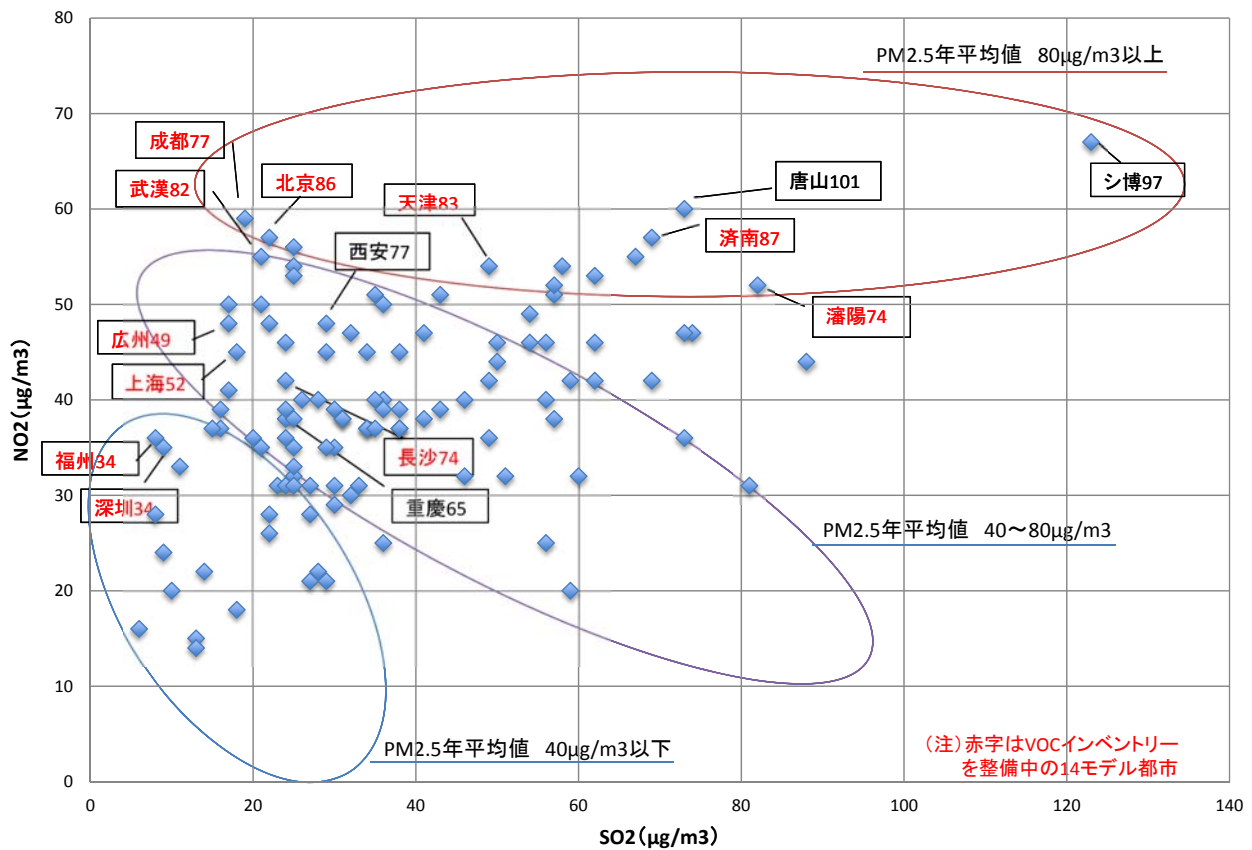
これらの資料については、第三者への公表・転載などはお控えください。

（参考資料1）2015年8月7日 笹川平和財団シンポジウムでの講演資料
「中国PM2.5汚染の現状と対策」賀克斌・清華大学環境学院院长

（参考資料2）2015年12月7日 JICA大気汚染研修でのジョブレポート
「我が国の大気汚染防止対策の進展と具体的措置」中国環境保護部汚染防止司



(図1) 地域別のPM2.5年平均濃度(μg/m³)



(図2) PM2.5,SO2,NO2の相関図(2014年)

(注) 赤字はVOCインベントリーを整備中の14モデル都市